

鈴 蘭




鈴 蘭 第8号

発行者 青木 伸弘
 編集 「鈴 蘭」編集委員会
 〒763-8507
 香川県丸亀市津森町219番地
 TEL (0877) 23-5555
 FAX (0877) 23-6200
<http://www.jyujin-asadahp.jp>
 題 字 青木 伸弘

新年を迎えて

理事長 青木 伸弘



新年明けましておめでとうござい
 ます。3年間を振り返ってみると、ほとん
 どのスタッフを旧法人から受け継ぐと同
 時に新法人の価値観を理解して貰い、意
 識改革と医療機関としての標準化を目指
 して来た3年間だったと思います。「鈴
 蘭」は小さな可憐な花で、フランスでは
 5月1日に「鈴蘭の日」と称し、友人や
 家族など愛する人や親しい人に鈴蘭を贈
 る習慣があるそうで、花言葉は、「幸福
 が帰る」「幸福の再来」「意識しない美し
 さ」「純粋」です。この3年間の経験を
 踏まえ、今年も経営安定化の布石として
 新たな展開を仕掛けたいと考えておりま
 す。そこで、新たに副理事長として佐藤
 靖郎先生をお招きして、大学との連携を
 考慮しながら、近隣医療機関とは一味も
 二味も違う特色ある病院へ生まれ変わる
 必要があるとの考えから、新たな科の増
 設や緩和ケアの導入等を考えておりま
 す。比較的急性期病院の多い中讃地区に
 においては、競争ではなく、協調・共生し
 ていくことで経営の安定化を計りたいと
 考えております。本年もどうぞよろしく
 お願いします。

副理事長就任の挨拶

副理事長 佐藤 靖郎



皆さま新年明けましておめでとうござ
 います。私は昨年10月に当院に副理
 事長として入職し、病院の全体的な方
 向性を決めるべく様々な角度から検討
 してまいりました。
 その中で非常に重要な点として再確
 認したことは第一に患者さんに安心し
 て病院に来ていただけること、第二に
 は職員が将来的に安心してこの病院で
 仕事を継続できること。第三には自ら
 の家族や住民の皆様を誇りを持てる職
 場であり続けることです。
 そのためには医師や看護師など様々
 な職種や世代が継続的に学習、成長で
 きる環境であることが必須であります。
 特に若手医師や看護師においては学習・
 成長の機会をサポートすることを最重
 要課題と考えており、今後は積極的な
 アメリカや欧州の最先端な医療機関へ
 の短期海外研修、国際学会参加を含め
 た研修制度を積極的に考えています。
 今回、病院の方向性をより明確にする
 ため、病院をセンター化することを
 考えております。センターは大きくわ
 けて2つのセンターから構成されます。

謹賀新年

旧年中のご厚情を深謝すると共に
 に、本年も変わらぬご指導をお願い
 申し上げます。

平成二十九年 元旦

医療法人社団 重仁
 麻田総合病院

理事長 青木伸弘
 副理事長 佐藤靖郎
 病院長 香川 勇
 事務長 伊藤基光
 他 職員一同

第一は病院の基礎の部分で構成し、各セ
 ンターを支える部門「病院機能を支える
 センター」、二つめは、機能別のセンター
 です。例えば、がん医療に関係する「が
 ん治療支援センター」や「乳腺・甲状腺
 センター」、「人工関節・脊椎センター」
 やその回復を支援する「リハビリセン
 ター」、内科疾患に対応するセンターな
 ど地域で必要とされる医療を集約しま
 す。
 今後は各センターがそれぞれの機能を
 発展させ、かつお互いに有機的に繋がる
 ことよって、より一層地域医療に貢献
 できるものと考えております。
 以上皆様方に我々の病院の発展を暖か
 く見守って頂ければ幸いです。

平成28年10月13日(木)
麻田総合病院 院内勉強会講義より



認知症医療を支える

脳は私たちの活動をコントロールしています。うまく働かなければ精神活動も身体活動もスムーズに働かなくなり、認知症とは脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりすることによって生活上の支障が出てくる状態（およそ6か月以上）をさします。

日本では、疾病に対する治療成績、健康に対する意識が向上した結果、世界でもトップクラスのスピードで高齢化が進んでいます。

厚生労働省も関係省庁と共同で団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域の環境の中で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、『認知症施策推進総合戦略（認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて）』新オレンジプランを平成27年1月27日に公表しています。

このような状況を考えると、医療機関では、認知症患者様とうまくお付き合いしていくことは必要不可欠な事です。

当院でも各専門職が講習会・研修会への参加、院内勉強会の開催等を通して、患者様自身にも、ご家族様にも、安心して日常生活に戻っていただけるよう支援させて頂いています。

実際の医療現場では、まず、認知症を見のがさないことが重要で、類

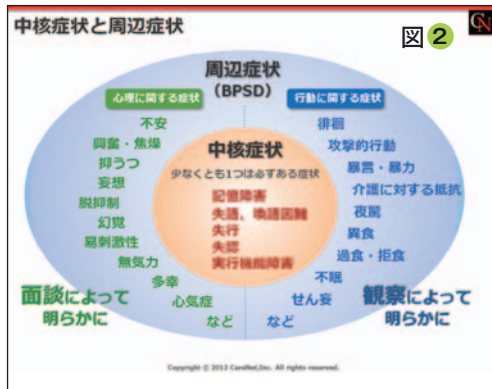
似疾患（*図1）との鑑別を進め、診断を確定します。

図1 認知症を主症状とする疾患 疾患は多岐にわたり、病態は多彩

変性疾患	アルツハイマー病 レビー小体型認知症 前頭側頭型認知症 ハンチントン病 大脳皮質基底核変性症 進行性核上性麻痺
血管性認知症	
感染性疾患	クロイツフェルト・ヤコブ病 神経梅毒 AIDS関連認知症
脳外科的疾患	脳腫瘍 正常圧水頭症（特発性、続発性） 慢性硬膜下血腫
全身疾患に伴う認知症	甲状腺機能低下症 肝性脳症 ビタミン欠乏症 (B ₁ 、B ₁₂)
その他	

福原もろ子ほか、内科 2012; 109: 757-762.
Copyright © 2012 CoreMedia, All rights reserved.

Care Netより



Care Netより

次に基礎疾患、症状の分析を進めながら、中核症状や認知症の行動、心理症状（BPSD）（図2）に対応します。特にBPSDに対しては非薬物療法が中心となるべく、適切にアセスメントをし、職員全体で取り組まなければなりません。ここで注意を要するのが入院して

発症し易い「せん妄」です。これはBPSDと似ており、しつかりと鑑別しなければなりません。（図3）
重大な基礎疾患があるかもしれない「せん妄」と認知症の「BPSD」を混同すると非常に危険なことになる可能性があります。

図3 せん妄とBPSDの違いを知る

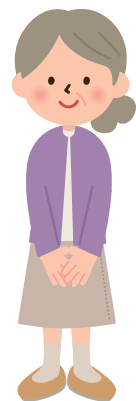
- せん妄は意識障害 急激に発症し、症状が変動
- せん妄は原因が取り除かれればなくなる BPSDは、なくなりますが、うまく対応すれば軽減できる
- せん妄は種々疾患で発現する
 - ▽直接原因（肺炎など炎症、電解質異常、脱水など種々疾病）
 - ▽誘発因子（薬物因子、疼痛、強制臥床など）
 - ▽準備因子（認知症、高齢、脳血管障害、アルコール多飲など）
 ∴認知症の一症状としてせん妄が出現することがある

最後に、認知症治療は薬物療法だけではなく病院スタッフ全員がそれぞれの立場からケアしたり、対応の仕方などを提案することが大切です。各々の患者様に最善の方法を探し続けることとなります。そのためには職種を問わず、認知症に対する理解を深めることが重要です。近い将来、大多数のご家庭では、認知症の方との生活を共有されます。地域の社会資源を活用したり、社会全体としてのサポートも提供できるようにしなければなりません。当院も認知症医療を支える重要な地域の柱となるよう努力しましょう。

文責 薬剤師 堀口 理見
監修 内科医師 村嶋 誠

認知症の方との関わり方

副師長 徳安 真由美



まずは「病気ののだ」ということを認めて受け入れましょう。認知症の直接の原因である「脳の細胞」が壊れる事で起こる症状を「中核症状」といい、認知症の方であれば誰しもが抱える症状です。その中核症状を背景に周辺症状があります。周辺症状とは「行動・心理症状」BPSDとも言われており、本人の性格や周囲の環境、人間関係などの影響を大きく受け、人により多種多様な症状があらわれます。そのため、介護者が対応に苦慮するのはBPSDです。
BPSDに対して周囲の人は、不思議な行動に困惑し、しつかりしてほしいと願う、失敗や不可解な行動を叱ったり、責めたりしますが、それによって本人はますます不安感や孤独感をますます感じます。その結果、さらにBPSDが出現し、認知症を進行させるといふ悪循環に陥ってしまいます。
この症状を和らげるためには、症状が出てくる時にいかに正しく周囲が対応できるかにかかっています。
認知症の方を現実の世界に対応させるのではなく、我々が認知症の方の持っている世界を理解して、その世界にあった対応をするということが大切です。

迎春

年男・年女として羽ばたく一年にしたいと思っています。
一緒に羽ばたきましょう。
本年もよろしくお祈りします。



三回目の年男です。職場では一回り違いの可愛い後輩たちと一緒に働かせてもらっています。この間、中学校を卒業したばかりだった僕も今では子供の顔を見ながら晩酌をする毎日です。少しお腹も出てきたこの頃。今年も運動を再開したいと思いません。また後輩女子に嫌われない様に清潔感と元気のある職員を今年目指しています。

リハビリテーション科 高木 善法

今年が気がつけば年女という事で、新年早々、皆様にご挨拶させて頂くチャンスを与えて頂いたことを、大変光栄に思っています。患者様の治療と心の支えとなり、また患者様の笑顔が私自身の心の支えとなるように、西年なので、のびのびと大きく羽をひろげて、より高く、大きく羽ばたけるような年にしていきたいと思っています。

看護部 谷川 史子

初めまして。リハビリテーション科の香西と申します。当院に就職をして早3年目の年となります。今年も西年で年男という事もあり仕事の面でも私生活の面でもより一層羽ばたいていきたいと思っております。特に仕事の面ではリハビリテーション科の一員として患者様と全力で向き合い寄り添うことのできるセラピストになれるよう昨年よりも努力します。

リハビリテーション科 香西 邦成



当院に就職して早2年が経とうとしています。最近「チーム医療」という言葉をよく聞きますが、それを成すには個々の技量が必要不可欠であると考えています。診療放射線技師の仕事としてMRIやCT撮影、一般撮影など様々なモダリティがありますが、その中でも特にMRIのスペシャリストになるために、より一層努力しチームの一員として貢献できればと思います。

放射線科 新名 哲也

今年で3回目の年女を迎えました。月日の経つのはあっという間で看護部として18年目となります。看護を通して患者様やご家族のおかげで今日まで充実した日々を過ごしてこられたことに感謝しています。今年も色々なことにチャレンジし、初心を忘れず笑顔で明るく日々成長できるような頑張りしたいと思います。

看護部 宮崎 奈津子

「西」という字の由来には「実が極限まで熟した状態」というものがあるようです。私は年女を何度も迎えてはいるものの今までも未熟な部分が必要と思われる状態です。今年も運気や有効な情報を取り入れ適所で活用し、実りのある1年にしたいと思います。

放射線科 横田 真由美

昨年度は日々忙しくただがむしゃらに業務を終わらす事だけで精一杯な一年でした。今年も計画的に業務を行い少しでも周りを気遣える余裕を持てればと思います。又、安心して仕事を任せてもらえるようスキルアップも図ってまいります。

看護部 岩宗 織絵

今年三月に24回目の誕生日を迎え西年の年女になります。また、外來の事務としてこの病院に就職して3年目を迎えます。今年も昨年より成長出来るよう努力しながら仕事に取り組んでいきたいと思っております。

医事課 三宅 茜

西年。年女となりました。昨年は色々変化があり日々目の前の職務に取り組み又、次の課題へと目まぐるしい年となりました。それでも前へ進んでこれたのは周りとの協力しあいチームワークが取れていたからだ嬉しく思います。今年もどんな年になるのか楽しみです。

医事課 秋山 恵子

昨年5月に入職し栄養科のほうで勤務しております。今年も目標は昨年よりひとつでも多くの知識や仕事を増やしていくことです。少しでもまわりの方々の力になれるよう体調管理に気を付け、初心を忘れずに頑張っていきたいと思っています。

栄養科 細川 祐人

入職し、10ヶ月が経ちました。私は人見知りの性格で、新しい職場でどうなるかと不安でした。しかし、皆様に温かく受け入れていただき、そのような不安はすぐになくなつたように思います。早く仕事をしっかり覚え、より良い仕事が出来よう努力してまいります。

検査科 高橋 夏美

麻田病院に就職して早4年が経ちました。今年も健康管理に気を付けて保育園の子供たちが安心して楽しく過ごせるように頑張っていきたいと思っております。

のぞみ保育園 吉田 真里子



インフルエンザかなと思ったら?

インフルエンザウイルスにはA型B型C型があり、このうち冬に流行する季節性のものはA型とB型です。特にA型は数十年に一度、新型ウイルスが出現して大流行を起こすことがあります。新型ウイルスが大流行を起こした後は、これまで流行を起こしたウイルスと入れ替わって、毎年冬に流行するようになります。

流行期のチェックポイント

- ① 急に38度の熱がでた
- ② 全身の筋肉、関節が痛い
- ③ 全身がだるい
- ④ 通勤、通学電車などの人混みを毎日のように通る
- ⑤ ここ2～3日帰宅後うがい、手洗いを忘れてご飯を食べてしまった

この中で、①②③が出た場合無理せず病院に行きましょう

患者は

- 周囲に感染させない様、マスク着用
- 医師の指示通りの治療
- 家に戻ったら安静・休養
- 水分をとる
- 職場や学校へ無理して行かない
- 発症後5日間経過し、熱が下がって2日間は外出を控える



家族は

- 出来るようであれば、患者と別の部屋
- 患者と接する時は必ずマスク着用
- 接した後は必ずうがいと手洗い



抗インフルエンザウイルス薬とは

体内でインフルエンザウイルスの増殖を抑える薬で、病気の期間を短縮したり症状を軽減したりする効果があります。点滴、飲み薬、吸入薬があります。

主なインフルエンザ治療薬の種類と特徴 (成人)

製品名	リレンザ	タミフル	イナビル	ラビアクタ
一般名	ザナミビル	オセルタミビル	ラニナミビル	ペラミビル
保険適応年月	2001.02	2001.02	2010.10	2010.01
種類	吸入薬	カプセル ドライシロップ	吸入薬	点滴
治療	1日2回×5日間	1日2回×5日間	単回	単回(複数回可)
予防 (保険適応なし)	1日1回×10日間	1日1回×7～10日	単回	適応なし
注意点・特徴	気道に直接作用	服用方法が簡単 10～19歳は 使用を控える	気道に直接作用 投与は1回	経口・吸入 不能患者への 投与が可能

以前子供がインフルエンザにかかった際に、「オセルタミビル」を飲むと異常行動を起こすことがあるとニュースで取り上げられたことがありました。

しかし、最近のインフルエンザ罹患に伴う異常行動研究(2014/15シーズン:厚生労働省)では、インフルエンザにかかること自体に伴い、急に走り出す、部屋から飛び出そうとするなどの異常行動を起こす恐れがあります。自宅で療養する場合は保護者が注意深く観察してあげてください。

インフルエンザワクチンについて

ワクチンの効果は年齢などによって異なりますが、発症の可能性を50～60%減少させたり、重症化を防ぎ、成人ではインフルエンザによる入院を70%減少させたりするという報告があります。ワクチンを打つと、概ね2週間後には抗体が血液中で増加してきます。抗体価は1～2ヶ月でピークになります。

10月より水曜日の内視鏡業務でお世話になっております黒田新士と申します。平成14年岡山大学医学部卒業で、現在は岡山大学病院の消化管外科で胃癌を中心とした胃疾患の診療に従事しております。

出身は高松市ですので、週1回ではありますが懐かしの瀬戸大橋を渡って通勤するのを楽しんでおります。不慣れなことも多くご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、丁寧な診療を心がけて頑張っておりますので、今後とも色々ご指導の程宜しくお願い申し上げます。



消化器外科
黒田新士

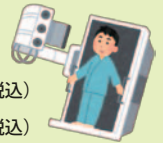
医師紹介

期間限定

人間ドック・脳ドック・乳がん検診のご案内

健康管理センターでは期間限定の支援価格にて人間ドック、乳がん検診、脳ドックを実施します。是非この機会に一度、受診されることをお勧めします。

●人間ドック



男性：20,000円(税込)

女性：26,000円(税込)

※対象者は丸亀市国民健康保険加入者の方

●乳がん検診



乳房超音波検査：3,000円(税込)

※対象者は30歳～39歳の女性

●脳ドック

18,000円(税込)



実施期間

1月5日(木)～3月28日(火)

予約期間

3月10日(金)まで

お問合わせ先

麻田総合病院 健康管理センター

TEL：0877-24-8300

FAX：0877-24-8317

お問い合わせ時間／

8:30～17:30(平日)

8:30～12:30(土曜日)

がん治療支援センターの設立とその概要

近年、がん治療についてはめざましい発展を遂げています。手術療法においては、内視鏡を用いた体に優しい手術、薬物療法では従来の抗がん剤治療に加え、腫瘍の増殖シグナルを分子レベルで選択的に遮断する分子標的治療薬や腫瘍血管の増殖を抑制する血管新生阻害薬などの新しい治療法も選択できるようになってきました。

これらの有効な治療を継続させるためには、抗がん剤の副作用や疼痛コントロール、生活支援などの複合的な要因を解決する必要があります。これらの問題点についての解決策は主治医や個別の診療科に委ねられているのが現状で、患者さんのがん治療における問題点を総合的に抽出し、解決を図る施設はほとんどありません。そこで、今回、麻田総合病院のグランドデザインをする過程において、がん患者さんの治療継続を支援するために「がん治療支援センター」を設立することにいたしました。

その中には抗がん剤や分子標的治療薬で発生する皮膚症状を皮膚科専門医が診療する「スキンケア外来」を新たに立ち上げます。またがん治療開始早期からのがん性疼痛緩和を行い、抗がん剤治療を行える全身および栄養状態を維持いたします。治療主体から緩和ケア主体に移行する患者さんの疼痛緩和ケアの支援もを行います。

また今回、改良型腹水還元治療を新たに導入いたします。従来の治療法では発熱などの副作用の問題により一回2リットルまでの腹水除去→還元しかできませんでしたが、当院においては副作用を最小限にさらに大量の腹水を管理することが可能となりました。腹水貯留が原因となって治療継続困難な例や緩和処置が必要な患者さんに有効とされております。

このような総合的にがん治療を支援する専門のセンターは国内初であり、多くの点で地域医療に貢献できるものと考えております。

中学生の職場体験

当院では、近隣の中学校からの職場体験の受け入れを行っています。今年も3校から職場体験の皆さんが、看護部・放射線科・リハビリテーション科・通所リハビリテーション科等を体験されました。放射線科では、原発の怖さだけのイメージが払しょくされたようでしたし、CTやMRIの機械の説明に聞き入っていました。実際に患者さんと接し、患者さんから、「ありがとう」の言葉かけを頂いた時の喜び、職員の患者さんに対する気遣い・工夫・言葉かけなどに対する感心と感動は、皆さん一様に感じていただいたようです。中学生の方たちが、自分たちの将来を見据えて医療職に少しでも関心を持ち、職業の一つとして選択してもらえるように、私達も医業に携わっているという誇りと謙虚さを持ち続け、地域の方々のお役に立てるよう日々研鑽していきたいと思っております。



連携室

新年おめでとございます。連携室が開設され3回目のお正月を迎えました。患者様や地域の医療機関の先生方、院内スタッフに求められる連携室を目指して、今年もメンバー一同業務に励んで参りますのでよろしくお願いたします。

連携室では、紹介患者様の診察・検査予約をはじめとし、医療ソーシャルワーカーによる入院・転院相談、地域の医療機関や施設、在宅サービス事業所、福祉行政などとの連携業務、患者様・ご家族様からの相談対応などを行っています。

治療や今後の生活に対し不安に思われ相談に来られる方も多くいらっしゃいます。

だより

新年おめでとございます。連携室が開設され3回目のお正月を迎えました。患者様や地域の医療機関の先生方、院内スタッフに求められる連携室を目指して、今年もメンバー一同業務に励んで参りますのでよろしくお願いたします。

連携室では、紹介患者様の診察・検査予約をはじめとし、医療ソーシャルワーカーによる入院・転院相談、地域の医療機関や施設、在宅サービス事業所、福祉行政などとの連携業務、患者様・ご家族様からの相談対応などを行っています。

治療や今後の生活に対し不安に思われ相談に来られる方も多くいらっしゃいます。

患者サポート相談窓口のご案内

相談時間

9:00~17:30 (月・火・水・木・金)
9:00~12:30 (土)

設置場所

1階医療相談室 (地域医療連携室内)

相談方法

来院、電話、郵送など、いずれの方法でもお受けします。

電話番号

0877-23-5555 (代表)

互助会職員旅行～南禅寺散策～



10月16日、昼の温度が20度を超え汗ばむ陽気だった。庭園を眺めながら湯豆腐を堪能する。南禅寺での1時間は山門から入り法堂を参拝した。明治に作られた水路閣を観て、最勝院で子どもの良縁をお願した。最後に石臼で抹茶を作り、引き立ての抹茶は香りがよく苦味が無かった。京都の紅葉を感じることができず残念だったが、とても充実した2日を過ごすことが出来た。

鯨崎ゆみ子



平成29年1月からの乳腺甲状腺外来

近年、乳腺・甲状腺疾患への関心が急速に高まりつつあります。しかし、国立がんセンターのデータから香川県の各地域において需要に対しての充足率は50%程度となっております。総合的に乳腺と甲状腺を専門的に診療できる施設は非常に少ないのが現状です。

このような状況の中、当院では地域医療に貢献するため、以下5名の先生方を川崎医科大学から招聘し、専門外来を開設し地域医療に貢献いたします。

- 田中 克浩 医師 (乳腺専門医・内分泌外科専門医・甲状腺学会専門医)
- 太田 裕介 医師 (内分泌外科専門医)
- 惣田 麻衣 医師 (乳腺専門医)
- 小池 良和 医師
- 岸野 瑛美 医師

スタッフリレー

Vol.5



氏名 藤岡 美香

所属部署 看護部6階

前回 田口さんからの質問

Q 得意料理を教えてください

A 菜飯、パエリア等混ぜご飯系

休日は何をしていますか？
私から「あの方」への質問

前回の田口さんからたすきを預かりました、6階に勤務している病棟クラークの藤岡です。病棟クラークって何?と良く聞かれますが、入院する患者様の受け入れ準備や病棟案内をしたり、電話対応や物品管理など看護師が看護に専念できるように事務的業務を行ったりしています。入職してまだ2年目なので何かとご迷惑をおかけするかとは思いますが、日々コツコツと精進して参りたいと思いますので宜しくお願い致します。

趣味は編み物をしています。3歳の娘とお揃いのレッグウォーマーを編んでいます喜んでくれると良いなあと思っています。

次は若くて好奇心旺盛でこのリレーも快く引き受けてくれたあの方いたすきを繋ぎたいと思います。

講演会のご案内



「消化器がんの低侵襲治療と個別化医療」

演者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
消化器外科学教授 藤原 俊義先生

日時 1月14日(土) 15:00～16:30

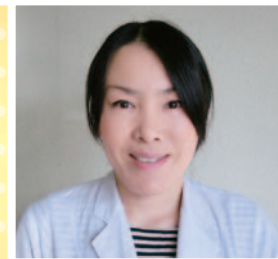
場所 麻田総合病院大ホール

2016年 忘年会



昨年12月15日、ホテルサンルートにて忘年会が開催されました。毎年恒例の部署・職種を超えたパフォーマンスや、参加者全員に(豪華)景品が当たるくじ引きなど…大いに盛り上がりました。2016年の総括をし、2017年の更なる発展を笑顔を祈願して締めくくることが出来ました。

職場長の夢



栄養科 主任 中川 知美

を思い浮かべてください。職員から頼られる存在に成れればと思います。

そして栄養科の一番の業務である食事の提供は、毎日、3食、入院患者様の楽しみになれる大切なチャンスです。調理師を主に職種は違えど気持ちは一つで、ただ患者様に食事でも喜んでほしい。夢と言ったら大袈裟かもしれませんが、感情のこもった、食べて見て楽しい食事。どこか家庭のような暖かな気持ちになれる食事を提供できたらと思います。

栄養科は管理栄養士、栄養士、調理師、調炊員で協力して栄養管理・食事の提供を行っています。チーム医療として管理栄養士が入院患者の栄養管理を行います。外来では、栄養指導や相談、最近ではダイエツト外来などでも医師から直接指示を受けて頂く機会も増え、信頼してもらえようになつてきています。食事で困ったという時は、ぱつと管理栄養士の顔

編集後記

「寛容」
自分の物差しだけで他人を図るとうまくいかない場合が多くなります。どうすればいいでしょうか。他人の言うことばかり聞いていると自分を見失います。他人の言うことを聞いて自分の考え方を通すためには、自分の実力を高めるしかありません。実力のない人ほど自分の物差しだけで他人を判断します。実力を高めるためには、教えてもらう先輩、討論し合う友人、教えてあげる後輩の3人の「師匠」を持つことです。教えてもらったことを、友人と話し合い、後輩に教えることです。その繰り返しで自分に何が分かってないかが解ります。それを克服していくことによつて成長できます。実力は無限です。鳥(酉)年にちなみ高く羽ばたいてみませんか。

加藤 繁秋